

令和 8 年度 第 35 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京予選 要項

目的 東京都内高等学校女子サッカーの健全なる普及と振興・発展を目的とする。

1. 大会名称 「令和 8 年度 第 35 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京予選」

2. 主催 東京都高等学校体育連盟・（公財）東京都サッカー協会

3. 主管 東京都高等学校体育連盟サッカー専門部女子部

4. 期日 9 月 5 日～10 月 10 日（予定）

5. 会場 駒沢オリンピック公園、他

6. 参加資格

（1）令和 8 年度に（公財）日本サッカー協会に加盟登録した単独の都内高等学校チームであること。

★参加選手は令和 8 年 4 月 1 日現在、参加する高等学校の生徒であること

（2）（1）に加え、他チームに二重登録されていないこと。

（3）各チームは必ず教職員（顧問）の引率すること。教職員でないスタッフのみの引率は認めない。 但し、
学校長の委嘱状があればよい。（公印が押印されていること）

（4）各チームは必ず審判（有資格者）を帯同すること。

（5）2007 年（平成 19 年）4 月 2 日以降に生まれた女子選手であること。但し、同一学年での出場は 1 回限り
とする。 なお、出場とは大会申込や試合のエントリーではなく、実際の試合出場を指す。

7. 競技方法

（1）トーナメント方式による試合を行う。

（2）第 27 回東京都高等学校総合体育大会女子サッカー競技の結果を踏まえ、シード校を決定する。

（3）試合時間については、次のとおりとする。

1 回戦～3 回戦 ： 70 分（インターバル 10 分） 延長無し PK

準々決勝以降及び 3 位決定戦 ： 80 分（インターバル 10 分） 延長 20 分（インターバルなし） PK

8. 競技規則

（1）日本サッカー協会「サッカー競技規則 2026/2027」による。

（2）各試合のメンバー表に記載できる選手数は最大で 26 名（先発選手 11 名＋交代要員 15 名）とし、交代要

員から5人まで主審の許可を得て交代することができる。なお、再交代は禁止とする。

(3) 選手交代について

(ア) 選手交代は、1試合を通して交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)

(イ) ハーフタイム中の交代は回数にカウントしない。

(ウ) 延長戦に入った際、すでに3回選手交代を行った場合でも、選手交代を1回行うことができる。

(交代人数枠が残されている場合に限る) 加えて、延長戦に入る前のインターバルおよび延長戦の前半終了時でも交代することができ、交代回数に含まれない。

(エ) 延長戦に入っても交代人数の追加はない。

(オ) 脳震盪の疑いがある選手が発生した場合、交代人数や回数に関わらず、その選手の交代を可とする。ただし、再交代は不可。

(カ) 上記(オ)が発生した場合、対戦相手も交代人数や回数に関わらず、追加の選手交代を可とする。

※脳震盪の疑いによる交代の詳細については、別紙【脳振盪による追加交代について】を参照。

(キ) 同点でPK戦となった場合、後半終了後(延長後半終了後)に、選手交代することはできない。

(4) 本大会において退場を命じられた選手(または警告を2回受けたもの)は、次の1試合に出場できず、その後の処置については、大会の規律委員会で決定する。

【規律委員会 床爪克至 坂田洋介 中野進治 梅原聖和 原山和也 武藤謙史 高橋葵 若杉千里子】

(5) 競技中に落雷の予兆があった場合、またその他の理由により、審判員又は大会本部の判断により試合を中止する場合がある。なお、試合の再開方法・結果などについては、15・16を参考する。当てはまらない事由については、大会規定に関わらず、大会事務局/規律委員会にて決定する。

(6) メンバー用紙を提出後から試合開始前まで(ウォーミングアップ中など)に、先発選手に怪我や体調不良が起こればその選手を変更したい場合、交代枠を減らさずに先発選手を変更することができる。ただし、変更した選手は交代要員としてベンチに入ることはできない。

(7) 試合球については、【molten ヴァンタッジオ 4900】を使用する。

(8) 合同チームについても、出場を可とする。別紙【合同チームガイドライン (PDF)】を参照。

(9) 後半終了後から延長戦開始までのインターバルは3分間とし、その間にはピッチアウトできない。

(10) 後半終了後（延長後半終了後）から PK までのインターバルは 1 分間とし、その間にはピッチアウトで
きない。

9. 参加申込方法

(1) グーグルフォームに回答する形で行うこと。単独参加は 7 月 3 日（金）、合同参加は 6 月 26 日（金）
まで。締め切り後の参加受付は行わない。

・単独参加、不参加校用フォーム <https://forms.gle/aG37Uy8iEwrz85B46>

・合同参加用フォーム <https://forms.gle/2dSRUpPg6PMM5X9c7>

・会場提供に関するフォーム <https://forms.gle/zXcKioX9yErSU8HH7>

(2) 『参加申込書』を 7 月 10 日（金）までにスキャンデータで提出すること。

10. 大会参加費

振込期限 7 月 10 日（金） 振込口座 三菱東京UFJ 銀行 渋谷支店 普通 3802202

東京都高体連サッカー専門部女子委員長 梅原聖和（ウメハラサカズ）

参加費…12,000 円

※個人口座から振込される場合は学校名をはじめに加えること。振込手数料は各チームが負担する。

※都立学校は『トリツ』を省いて入力すること。

※合同チームで参加する学校の金額については、1 チームにつき 12,000 円とする。（各校の振込額について
は、合同チーム内で決定するものとする）

11. 組み合わせ抽選会、代表者会議

日時、場所：7 月 10 日（金）18:15～ 東京都立新宿高等学校

※抽選会時、生徒の参加も可とする。ただし 1 校につき 1 名まで。（合同チームは 1 チームにつき 1 名まで）

12. 表彰

優勝、準優勝、3 位チームには表彰状を授与する。

優勝チームには第 35 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会の出場権を与える。

2 位・3 位チームには、第 35 回関東高等学校女子サッカー選手権大会の出場権を与える。

上位 4 チームには令和 8 年度 第 27 回東京都高等学校女子サッカー新人戦大会にシード権を与える。

13. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを携帯する。ゴールキーパーはフィールドプレイヤーと異なる色を着用すること。また、いずれも審判と同色(黒)または類似色（黒・紺系）の上衣を着用することはできない。 ※アンダーシャツは各袖の主たる色と同じ色で1色、またはシャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。 同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- (2) ユニフォーム規定に関する緩和措置は導入しない。
- (3) 番号は1番から26番までとする。
- (4) 縞のユニフォームは、30cm 四方の台地に背番号を、10cm 四方の台地に胸番号をつけること。
- (5) 腰番号はあることが望ましい。

14. その他

- (1) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。
- (2) 下記の場合は不戦敗となる。
 - (ア) キックオフ時刻を10分過ぎてもグラウンドに選手がそろわない時（7名未満）
 - (イ) 引率者がいない時
- (3) 負傷および事故の責任は、該当チームが負うものとする。
- (4) ベンチ入りできるのはメンバー表に登録されたスタッフ最大5名と控え選手最大15名とする。
- (5) 会場入りする合同チームの引率者の人数は問わないが、ベンチ入りできるのは(4)のとおりとする。
- (6) 控え選手は、ユニフォーム姿の上にビブスを着用しベンチ入りすること。
- (7) 審判について
 - (ア) 審判は各校の帯同審判員が担当する。(準決勝から派遣予定)
 - (イ) 各校必ず審判員（有資格者）を2名以上帯同すること。（うち1名は18才以上、高校生でない者とする）
 - (ウ) 審判は審判服（上衣・パンツ・ストッキング・色調は黒）を着用すること。

(エ) 全試合第 4 審判を割り当てる。(第 4 審判も審判服を着用すること)

(8) スカウティングについて

自チーム以外の試合において、スカウティング目的で動画撮影（およびそれに準じる行為）をする場合、必ず当該の 両チームから事前に許可を得ること。また、撮影した動画をインターネット上等、不特定多数が閲覧できる媒体に アップロードしないこと。

(9) その他の動画撮影について 試合の模様を保護者・チームスタッフ・選手等の関係者が撮影する場合、所属校が判明できる格好で行うこと。(ビブスやチームジャージの着用、タオル等のグッズ利用等) また、撮影した動画の扱いについては、スカウティング時と同様とする。

(10) 試合開始前について

(ア) 試合開始 30 分前までを目安に、メンバー用紙 3 部と 2026 年度選手証(KICKOFF から出力できる写真付きの一覧を印刷したもの)を本部に提出すること。写真のないものは無効とする。

※メンバー用紙の選手の順序と選手証の順序は同じにしておくこと。また、メンバー用紙に記載がある選手分のみ提出すること。

※選手証を印刷したものがない場合、電子選手証で確認がとれれば出場を可とするが、これは非常時の手段であり、原則として印刷したものを用意すること。

※試合開始 10 分前までに選手証の提示ができない選手は出場できない。

(イ) 試合開始 5 分前を目安に、メンバーチェックを受けること。(入場セレモニーや業者による写真撮影などが入る場 合はこの限りではない)

(ウ) 準々決勝、準決勝、決勝、3 位決定戦については試合開始 80 分前に MCM を行う。(メンバー用紙の提出も MCM 終了時に行う)

(エ) MCM には、FP・GK それぞれの正副ユニフォームを持参し、監督およびチーム内で責任ある者が出席すること。

(11) 試合の記録について

(ア)すべての試合で、【報告用紙】を使用する。

(イ)報告用紙を使用するため、メンバー表・交代用紙はチームに返却せず、本部預かりとする。

(ウ) 受験等で試合の記録が必要な場合、報告用紙・メンバー表に高体連印を捺印したもので対応する。

15. 荒天・落雷についての対応

- (1) 会場責任者および主審の判断で試合開始時刻の遅延、試合中の中断を決定する。
- (2) 試合開始時刻から 60 分（目安）、又は中断から 30 分（目安）以上経過しても、回復が見込めないか安全が確認できない場合は、試合を中止する。中止後の流れ…試合時間のおおよそ 3 分の 2 以上(後半 10 分～15 分)が過ぎていればその試合は成立させ、残りの試合時間の分の延期はしない。ただし、ベスト 8 以上（予選トーナメントの準々決勝以降）については、残りの試合時間の分も最後まで実施をする。中断後に延期、再試合となった場合は残り試合時間を行う。記録（選手・スコア・警告・退場等）は、中断時点から引き続きとする。尚、選手の交代は中断時のメンバー表に基づき、交代を認める。（中断時・再試合・再開後合わせて交代人数 5 人まで、交代回数も引き継ぐ）
- (3) 中断後に状況が回復し残り試合が可能と判断した場合、原則は中断した試合を優先的に進める。状況により会場責任者、審判団、該当チームで優先する試合を決定する。
- (4) 引き分け時の勝敗を決めるためのペナルティキック途中の中止は抽選（コイントス）を行い、次回進出校を決定する。
- (5) 主審は、中断時の状況を【中断・延期にかかわる報告書】に記録する。
- (6) 中止となった試合以降の当該チーム、審判団等へ順延の連絡をする。
- (7) 委員長および事務局へ報告する。

16. 熱中症対策について

- (1) 試合は、原則として公益財団法人日本サッカー協会（JFA）熱中症対策ガイドラインに基づき実施する。
- (2) WBGT（暑さ指数）31℃以上を目安とし、会場責任者および主審の判断で、試合開始時刻の遅延、試合中の中断または中止を決定する。
- (3) 中断後に気象条件等が改善し、試合の継続が可能と判断した場合は、原則として中断した試合を優先して再開する。
- (4) 中断後の試合成立、延期、再試合、記録および選手交代の取扱いについては、「15. 荒天・落雷についての対応」に準ずる。

- (5) 下記リンク先のガイドラインに沿って、飲水タイム、クーリングブレイクを設定する。(クーリングブレイクの時間を延ばす等の措置も可能とする)

◆【JFA 熱中症対策ガイドライン】

https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf

◆【JFA 熱中症対策ガイドライン改正概要】

https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline_amendment.pdf

◆「熱中症対策ガイドライン」(追補版)(令和7年6月 東京都教育委員会)

https://www.taiiku-kenko-edu.metro.tokyo.lg.jp/accident_prevention/heatstroke.html

◆熱中症事故防止リーフレット

https://www.taiiku-kenko-edu.metro.tokyo.lg.jp/accident_prevention/heatstroke_leaflet.html

17. 会場責任者の分担について

会場校は教職員及びチームスタッフを2名以上配置することが望ましい。(1名のみで試合に該当した場合、会場責任業務等に対応できなくなるため)

18. 大会事務局

東京都立東大和高等学校 梅原聖和 Masakazu_Umehara@education.metro.tokyo.jp

東京都立橘高等学校 原山和也 Kazuya_Harayama@education.metro.tokyo.jp

中央国際高等学校 武藤謙史 k.mutoh@chuos.com